

チャムロン氏来県を記念

難民、農業など支援へ

海外NGOと連携 どなたでも参加OK

岡山国際協力機構が正式発足

タイの民主化リーダー、チャムロン氏が七月に来県したのを記念し、構想が持ち上がった「岡山国際協力機構」がこのほど、正式に発足した。代表にバイオ企業「林原」の総務・広報グループ主幹で、パキスタン人のモハマッド・ライースさんが就任するなど、国際性豊かな組織。「岡山から世界へ」を合言葉に、難民、農業、留学生の支援を中心にしたユニークな活動を展開している。

最初のプロジェクト

岡山市に留学生交流地区

岡山国際協力機構は、チャムロン氏を岡山に招いたNGO(非政府組織)の「アジア医師連絡協議会」(AMDA、本部・岡山市)の菅波茂代表の呼びかけで発足。「岡山から国際協力を推進する人の輪」とゆるやかな組織であることを根本に、「海外で活動するNGOと、岡山の地域団体及び住民との接点を拡大すること」を目的としている。副代表には国際ネットワークに詳しい田中治彦・岡山大学教授、事務局長に今井龍祥・ポランティアグループ「アウトロー」代表が就任。また、世話人には菅波代表のほか、黒住信彰・黒住教育学院院長▽松田久・岡山青年会議所理事長▽宮尾俊輔・「ハヤト」社長が、名

を連ねている。

同機構は最初のプロジェクトとして、留学生のため大から五キロ以内の町内会な

の「岡山市国際交流モデル地区」の設置を予定。岡山

どコミュニティがしっかりと地域を「国際交流モデル地区」に設定し、留学生が「お客さん」ではなく、地域の「住民」としてコミュニティに積極的に参加できるようなシステムを作る。そのため、住居や医療、アルバイトなど生活の基本的な要素を保障。これを基本に「交流コーディネーター」が地域の学校や住民らとのコミュニケーションが図れるように手助けする。今年度中に地区を設定し、来年度から二十人程度の留学生を実際に迎えていく予定にしている。

また、チャムロン氏の来県を記念し、タイ東北部の農民を支援するための「東

北タイ農村基金」を設置することも決定。十月上旬にチャムロン氏がタイのカンチャナブリに建設する「農業指導者養成学校」などを訪ねるスタディ・ツアーを実施する。希望者は自由に参加できるという。

同機構についての問い合わせは、事務局(0862・22・8810)「ハヤト」内。

ピア & テクニオン

親切な楽器の総合デパート

トナガピアノ店

五島中央町(支所南100メートル)
☎08652④4028④